



2024年10月30日
東日本旅客鉄道株式会社

「高輪地球益ファンド」の設立について ～まちづくりパートナーとともに地球益実現を目指すファンド～

- 東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：喜勢 陽一、以下「JR東日本」）は、2024年12月にグローバル・ブレイン株式会社と共同で、「TAKANAWA GATEWAY 地球益投資事業有限責任組合（以下、「高輪地球益ファンド）」を設立します。
- 「高輪地球益ファンド」はビジネス創造イベント「GATEWAY Tech TAKANAWA」で生まれたビジネスの種の成長を支援します。支援を通じ、TAKANAWA GATEWAY CITYを拠点とした広域スタートアップエコシステム^{※1}の一層の発展に取り組みます。
- 広域スタートアップエコシステム形成の活動の一環として、「GATEWAY Tech TAKANAWA」内で実施するピッチコンテスト「TAKANAWA PITCH」に参画するスタートアップの募集を開始します。

※1 「TAKANAWA GATEWAY CITY」を拠点とした広域スタートアップエコシステムについて：https://www.jreast.co.jp/press/2023/20240305_ho02.pdf

1. 「ファイナンス」機能を備えた広域スタートアップエコシステム

「地球益^{※2}」の実現に向け、ビジネス創造施設「LiSH^{※3}」では、ビジネス創造イベント「GATEWAY Tech TAKANAWA」から生まれたビジネスの種の街での実証・ブラッシュアップをサポートします。さらに、ファイナンス面からも社会実装を支援するため、「高輪地球益ファンド」を設立し、TAKANAWA GATEWAY CITYを拠点とした広域スタートアップエコシステムを強化します。



※2 地球に対する負荷が高いこれまでの経済活動を見直し、地球と人間が調和する利益を目指すこと。

※3 TAKANAWA GATEWAY CITYのビジネス創造施設「TAKANAWA GATEWAY Link Scholars' Hub」の愛称。多様で先端的な知をつなげ、かけあわせることで新たなビジネス・文化を生み出すことを目指します。：https://www.jreast.co.jp/press/2023/20240305_ho02.pdf

「TAKANAWA GATEWAY 地球益投資事業有限責任組合」(高輪地球益ファンド)

JR東日本は本ファンドを通して、TAKANAWA GATEWAY CITYのまちづくりパートナーとともにスタートアップへ出資します。各パートナーとスタートアップとの共創を生み出し、街を実証フィールドとして活用しながら、スタートアップを効果的に支援していきます。

名称	TAKANAWA GATEWAY 地球益投資事業有限責任組合 略称：高輪地球益ファンド 英名：TAKANAWA GATEWAY Global Co-Benefits Fund L.P.
目的	まちづくりパートナーとともに、地球益の実現に資するスタートアップを支援
ファンド規模	最大50億円を想定
運用期間	10年間
主な投資領域	国内外の環境、モビリティ（ロボット）、ヘルスケアの各領域を中心に出資
投資ステージ	アーリーステージからミドルステージ

2. ビジネス創造イベント「GATEWAY Tech TAKANAWA」

(1) ピッチコンテスト「TAKANAWA PITCH」の募集開始

2025年5月13日(火)～14日(水)に開催する「GATEWAY Tech TAKANAWA^{※4}」の目玉コンテンツ「TAKANAWA PITCH」のスタートアップの募集を開始します。

募集期間	2024年10月30日(水)～12月27日(金)
説明会	募集テーマや選考フロー等、本ピッチコンテストに関する説明会を開催します。 日時：2024年11月20日(水)19:00～20:00 (Zoomウェビナー)
申込方法	ピッチコンテストへの応募・説明会への申込みは、GATEWAY Tech TAKANAWA 公式ホームページ (https://www.takanawagateway-lish.com/gateway-tech/pitch/)にて受付します。
公式SNS	ピッチコンテストやイベントの情報等を発信します。 ・Xアカウント： https://x.com/GATEWAYTech_JP ・Facebookアカウント： https://www.facebook.com/profile.php?id=61567841280179

※4 GATEWAY Tech TAKANAWA 「TAKANAWA GATEWAY CITY を舞台に“地球益”の実現を目指す共創の祭典」をコンセプトに、スタートアップや多様な企業、アカデミアやアクセラレーターが一堂に会し、1者では難しい環境問題や健康寿命といった地球規模の社会課題解決に向けて、新たなつながりを生み出し、共創の創出を目指すイベントです。

(2) ピッチコンテスト「TAKANAWA PITCH」概要

街での実証も見据えた事業アイデアを募集するピッチコンテストです。賞金や「高輪地球益ファンド」からの出資検討^{※5}、TAKANAWA GATEWAY CITYでの実証実験支援や東京大学の研究者によるアドバイスを受けられる権利など、様々な賞をご用意しています。



TAKANAWA グランプリ	TAKANAWA FUND賞	PHD Lab.賞
●賞金500万円を提供 ●「高輪地球益ファンド」から出資を検討 ●JR東日本グループを中心に、TAKANAWA GATEWAY CITYでの実証実験をサポート	●「高輪地球益ファンド」から出資を検討	●PHD Lab. ^{※6} に参加する東京大学の研究者によるアドバイスをはじめとしたサポートを得られます。
副賞	●ビジネス創造施設「LiSH」会員権 ^{※7}	

※5 グローバル・ブレイン株式会社及び受賞企業の合意のもと、引き受ける株式又は新株予約権の内容、投資金額及び投資時期等の詳細について交渉する機会を約するものであり、詳細は採択企業と協議の上、別途決定するものとします。

※6 JR 東日本と東京大学によるプラネタリーヘルスの創出を目的とした協創プロジェクトについて：https://www.jreast.co.jp/press/2023/20231025_ho01.pdf

※7 期間限定でLiSH Studio1のデスク会員権(共用プラン)1IDを無料で提供します。

審査員



東京大学
大学院農学生命科学研究科
五十嵐 圭日子氏



(株)ウィズグループ
代表取締役
奥田 浩美氏



KDDI(株)
オープンイノベーション
推進本部長
中馬 和彦氏



グローバル・ブレイン(株)
代表取締役社長
百合本 安彦氏



東日本旅客鉄道(株)
執行役員
マーケティング本部副本部長
竹島 博行

(3) Match-up challenge (チャレンジマッチング)

具体的な課題を抱える企業に対して、ニーズの解消に資する技術やサービスをもったスタートアップとのマッチング機会を提供します。先行して生まれた共創プロジェクトを発表するとともに、当日マッチングイベントも開催します。

このたび、株式会社伊藤園の募集テーマを新たに発表します。



企業名/募集テーマ	求めるスタートアップ像
<p>株式会社伊藤園</p> <p>①サプライチェーン全体の最適化</p> <ul style="list-style-type: none"> AI活用による販売予測、生産計画、在庫配置、拠点引取など正確性向上と効率化 自動販売機のオペレーションにかかるDXの推進 <p>②茶のウェルビーイング</p> <ul style="list-style-type: none"> お茶のある暮らしで「人生100年時代を豊かに生きる」を実現する研究とソリューション 	<ul style="list-style-type: none"> ● AI、ロボティクス技術活用によるサプライチェーン提案 ● 食と健康に貢献するソリューション

(参考) 2024年9月12日リリース時の企業と募集テーマ

企業名・募集テーマ
<p>マルハニチロ株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 魚食のリデザイン ● パーソナル・スーパーフード
<p>明治安田生命保険相互会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人々の健康の維持・増進 ● 地域社会の活性化 ● 新たな体験を生み出す技術の革新

企業名・募集テーマ
<p>松竹株式会社・松竹ベンチャーズ株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新たなIPコンテンツの創造 ● 最新技術を活用した新たなデジタル体験の創造 ● 新領域でのエンタメ創造への挑戦
<p>TOPPAN株式会社・TOPPANデジタル株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スマートストアの実現 ● 多言語マルチモーダルコミュニケーションAIの共創 ● 中長距離無線給電システムの用途拡大・共創

【参考】

< 「TAKANAWA GATEWAY CITY」のまちづくり概要 >

品川開発プロジェクトの一環として、江戸の玄関口としての役割を担った歴史的背景および国内初の鉄道が走った地におけるイノベーションの記憶を継承し、開発コンセプトに「Global Gateway」を掲げ、「100年先の心豊かなくらしのための実験場」として新たなビジネス・文化が生まれ続けるまちづくりに取り組んでいます。

THE LINKPILLAR 1および高輪ゲートウェイ駅周辺エリアを2024年度末（2025年3月下旬）に開業し、その他の棟（THE LINKPILLAR 2・「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」・TAKANAWA GATEWAY CITY RESIDENCE）および各棟周辺エリアを2025年度中に開業します。

今後も続く品川駅周辺エリア（品川駅北口駅改良・品川駅街区）のまちづくりと一体となった価値向上に向けて、品川開発プロジェクトを推進していきます。

公式ウェブサイト (<https://www.takanawagateway-city.com>)



< グローバル・ブレイン株式会社について >

グローバル・ブレインは、グローバル規模でスタートアップ支援を行う独立系ベンチャーキャピタルです。徹底したハンズオン支援、グローバルなエコシステム、スタートアップ企業と大企業のオープンイノベーションを通して、スタートアップ企業を支援するとともに、新たな産業の創出を目指しています。日本に加え、アメリカ、イギリス、ドイツ、中国、韓国、インド、インドネシア、シンガポールに拠点を構えており、現在は純投資ファンドのほか、各業界のリーディングカンパニー18社とCVCを運営。運用総額は約3,000億円となっています。

<ビジネス創造施設「LiSH」について>

「TAKANAWA GATEWAY Link Scholars' Hub (略称 LiSH)」は、ディープテック分野などの100社以上のスタートアップをサポートする多様な人材や支援制度を揃え、広域スタートアップエコシステムの拠点となる施設です。世界中の社会課題に対して、多様で先端的な知とのコラボレーションの機会や、鉄道データを含む街のデータ基盤（都市 OS）による分析、多様な資金サポートの提供により、ソリューションを生み出し、育て、社会実装までサポートします。

個室やコワーキングスペースに加え、ベースラボ、水圏ラボ、植物ラボ、微生物ラボなどのシェアラボを備えているほか、街全体を実験場として、様々なフィールドをご用意しています。

新たなビジネス創出に向けて、新規会員を募集しています。

LiSH 公式ホームページ：<https://www.takanawagateway-lish.com/>

お問い合わせ先：takanawagateway-lish@jreast.co.jp



施設概要と会員の種類

	Studio1	Studio2	Studio3
利用可能時間	24h	8:00～21:00	8:00～21:00
Studio全体の広さ	約2,300㎡	約670㎡	約750㎡
(個室会員) 個室の種類	3名～6名	4名	2名～4名
(デスク会員) デスクの数	約90席	約50席	約20席

	Lab				
	シェアラボ				個室
	ベース	特化			
	水圏	植物	微生物		
利用可能時間	24h				
受付時間	10:00～18:00				
広さ	約240㎡	約80㎡	約80㎡	約80㎡	約17㎡～26㎡
(個室会員) 個室の種類	-	-	-	-	3名～4名
(シェアラボ会員*) ベンチの数	20台	4台	4台	4台	-

本件プレスリリースは、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR記者クラブ、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会へお届けしています。